

福祉医療

問 小学6年生までの医療費無料化実現を

答 来年度予算編成の重点施策の一つ



小林英雄議員

【来年度予算編成】

問

重点施策は。

村長

情報基盤整備事業と、福祉・教育・観光に重点を置くよう方針を伝えました。

問

県は入院の場合の子ども医療費について、小学校3年生まで無料化を決めました。通院の場合を含め、対象年齢を6年生まで引き上げることは十分可能だと思えますが。

村長

重点施策の一つとして、段階的に対象年齢を引き上げて行きたいと考えています。

問

若者が希望を持って定住できるような、村としての独自の施策が必要だと思えますが。

村長

景気が冷え込む中、若者の定住・雇用対策は難しい問題です。観光の活性化が鍵を握っていると考えますが、なかなか即効性のある対策がとれない社会情勢です。

問

村の事務事業評価委員会の検討状況は。

総務課長

年に4〜5回開催をしています。200のすべての事業を見るわけにはいかないで、委員から40〜50選んでいただいています。

問

委員会の評価結果について、村としてどう評価しますか。

村長

評価書を担当課で評価をし、平成22年度予算に反映させていきます。

【村長公約の自己評価】

問

就任から3年半、3つの公約は、ほとんど実現していないように思われますが、自己評価は。

村長

「観光産業の活性化」については、観光局長の一般公募、廃屋撤去費用の補助、観光客対象のナイトシャトルバス運行、白馬小径の再生、庄屋丸八の復元、6スキー場のライブカメラ設置などを行いました。局長を迎えたこの一年、局はイベント実施の作業部隊から戦略を立案し実施する組織へと大きく転換しました。時間はかかっていますが、良い方向に進んでいると確信しています。「身近な行政の創出」については、村民目線で対応できる職員教育、村長のメールアドレスとFAX番号公開・提言箱設置のほか、役場に専門の

総合窓口案内係を置きました。「情報公開」では、今後地域通信情報基盤整備に取り組みますが、貢献してくれると思っています。また、事務事業評価、村内29地区での住民懇談会を行いました。「元気な子供の創出」については、保育所の統合と保育料

の大幅引き下げ、通園バスの導入、障害児の保育環境の充実、子育て相談事業などを行いました。公約は永遠の課題であり、3年や5年で完了するものではない。私としては、3年間にそれなりの実績を上げてきたと自負しています。



冬の白馬南小学校